

〰〰〰 編集後記 〰〰〰

『京浜歴史科研年報』は本号をもちまして二〇号目となりました。本会では、二〇〇四年に創立二〇周年を迎え、論集『近代京浜社会の形成』（岩田書院）の刊行、新井勝紘氏による記念講演の開催など、種々の企画を行ってきました。

今回は、研究会の学習活動の成果発表の場であり、会員個人の研究発表の場として刊行を続けてきました『京浜歴史科研年報』が二〇号という節目を迎えるにあたりまして、現在の研究状況を把握して、新たな歴史像を構築していく上での土台を提示するという意味で、『吉川弘文館『日本の時代史』近代・現代を読む』という特集を組みました。

詳細は「特集にあたって」で述べられていますが、執筆にあたっては統一的な視点、書評の基準はあえて設定せず、評者各自の問題関心に基づいてまとめて頂くようお願いしました。

ご多忙の折、限られた紙数での執筆をご快諾くださいました諸氏には心より御礼申し上げる次第です。

今後とも、より充実した誌面となるよう努力を重ねていく所存です。読者諸氏には引き続きご指導・ご鞭撻を乞う次第であります。

（神谷大介）

京 浜 歴 史 科 研 年 報 第 二 〇 号

発行日 二〇〇八年二月一日  
編集・発行

京浜歴史科学研究会

〒二三三―〇〇〇六

横浜市港南区芹が谷五―五九―一二二 大湖賢一方

電話 〇四五―八二五―三七三六

郵便振替口座 〇〇二七〇―八一―一五五三五

印刷

合資会社 横 浜 大 気 堂

横浜市中区真砂町四―四〇